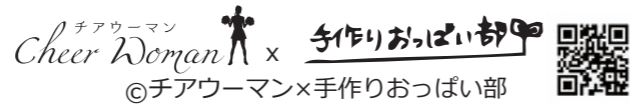


ちあばい♪ 布バージョン



©チアウーマン×手作りおっぱい部

2018.4.1

材料 手芸店以外に、100円ショップで買いそろえることも可能です。

布2枚(サイズ+8cm四方)

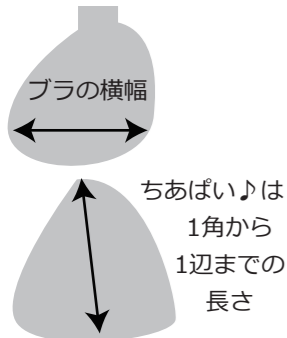
綿など洗濯しやすく肌触りがいいものがおすすめ。初心者さんは、ダブルガーゼ、コットンプリントが作りやすい。

中綿(化繊・ポリエステル)

重みが欲しい方は下記が使えます。
 ・ケーキの保冷材(スリットは広めにつける)
 ・おはじき(音がするので綿に埋め込むと静か)
 ・ぬいぐるみ用のペレット

- ・縫い針・縫い糸・まち針
- ・チャコ・鉛筆
- 洗濯して色落ちするサインペンは注意。
- ・ハサミ
- ・定規かメジャー
- ・コンパス(お皿等)
- 円を書くために必要です。お皿等で代用可能。

サイズの測り方



サイズの目安

ちあばい♪	表布の直径/縫い幅	カップキャミ	前開きブラ	ワイヤーブラ(大きい方はカップの横幅を参考)
AA(11cm)	14cm/1cm	M	S	A65,A70,A75,B65,B70,B75,C65,C70,D65,D70
A(12.5cm)	16cm/1cm	L	M	A80, B80 C75,C80,D75, E70,E75
B(13.75cm)	18cm/1.5cm	XL	L	A85, B85 C85, D80, E80
C(15cm)	20cm/1.5cm		LL	D85, E85
D(16.25cm)	22cm/1.5cm			

・スポーツブラはカップ付きキャミソール参考の普段サイズが若干小さめ。

布の下準備

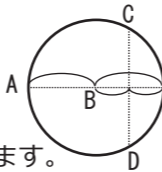
布には糊が付いていたり、洗濯すると縮むことがあります。最初に水にさらすことで、糊を取ったり、先に縮ませることで出来上がりサイズからの縮みをふせぎます。
 ①水に最低でも30分浸します。もしくはネットに入れて洗濯機(洗剤なし)にかけます。
 ②軽く絞って、形を整えながら干します。
 ③生乾きの状態でアイロンをかけます。

裏布 何もしません。布が大きい場合は、表布と中表に固定する際に、縫い代とふたが取れる大きさに切ります。

表布に印をつける。

- ①まず表布の裏側に上のサイズを参考に、布端から1cm以上空けて、作るサイズの直径の円を書きます。コンパスがない場合は、サイズに近いお皿等で代用してください。
※円を書くだけで、布は切らずに作業を続けます。
- ②円を半分に折ります。まち針を刺しながら線の位置を合わせてください。半分に折った片側の円の部分に印Aを書きます。
- ③円をさらに半分に折って扇形にして、折った部分に印B(中心点)を書きます。
- ④扇形を戻して、印①の反対側の円の線と印②を合わせて折ります。
- ⑤円の線上で、折れた部分を1枚ずつ印CとDを書きます。

AとCとDは、円を三等分した位置になります。



絵柄に縦横がある時

表布の形を決めます。



ア…高さがありますが、縫い目が目立ちます。(大きなイラストは不向き)
イ…高さは中間で、途中まで縫い目があります。
ウ…一番低い高さで、縫い目ではなく、しわがよります。

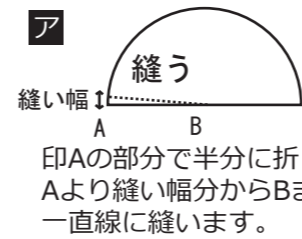


作りやすいのはアやイです。ウはしわを作るのが、アやイに比べると難しいです。出来上がりはアが一番三角に近くウは丸くなります。

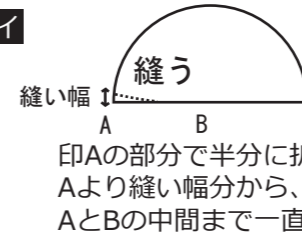
表地の準備

形が決まったら、それぞれの形に合わせて、準備をします。

ア

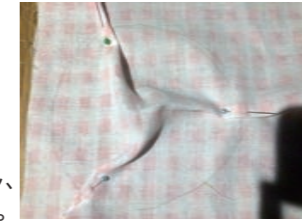
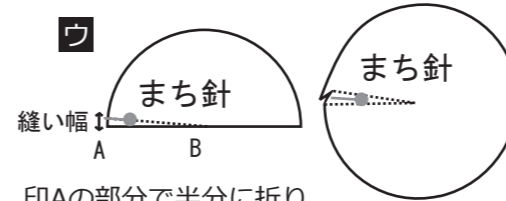


イ



縫い幅
AA・A 1cm
BCD 1.5cm

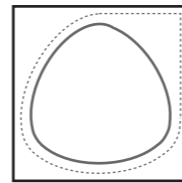
ウ



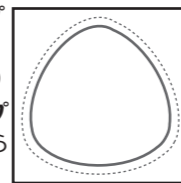
ACDを縫いぢめることでちあばい♪に近い山の形が作れます。

ふたを考える

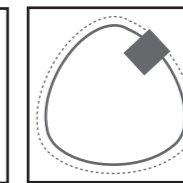
表布の準備が終わったら、表布と裏布が中表(内側が表面になる)に重ねます。この時に、ふたの作り方で布の必要な縫い代が変わります。



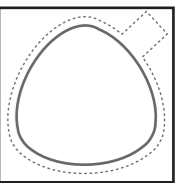
ふたを外に出さないタイプ
縫い代を多めにとります。(出来上がった中に折る)



ふたなしタイプ
出来上がった縫い閉じます。



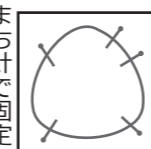
ふたを別にする
ふたを作って表布に縫い付けます。



縫い代部分にふたを付けます。表布か裏布のどちらかで、ふたの2倍の長さに切り、二つ折りしてふたを縫います。

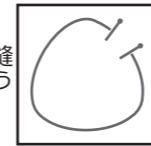
全体を縫う

まち針で固定



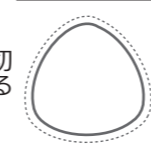
表布と裏布が動かないようにまち針で固定します。アとイの場合は、縫い目が同じ方向になるように倒し、止めておきます。ミシンを使う場合は、進行方向に倒すと段差がスムーズに縫えます。

縫う



綿を詰める口を5~8cmほど作るので、印の中間あたりに目印のまち針を付けます。縫う時は、詰め口の手前1cmほどから詰め口まで、円の線を縫い、詰め口でUターンします。反対側の詰め口まで行ったらUターンして1cmほど縫います。※詰め口の手前1cmを二重に縫うこととなります。

切る



縫い終わったら、円の1cm外側を表布と裏布を同時に切り落とします。(縫い代)
※ふたの形によって切り方が変わるので、ご注意ください。

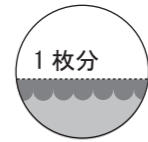
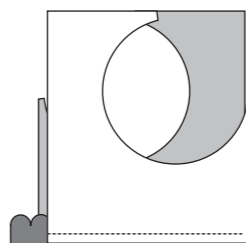
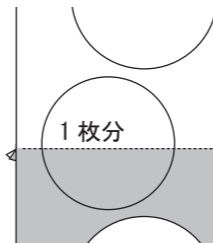
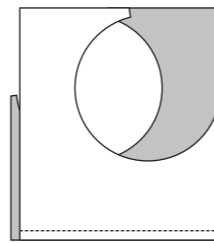
ほつれが気になる方は表布と裏布をまとめてかがり縫いをします。ふたのついていない側は二つ折りにしてまつります。出来上がった後、詰め口から裏返して綿を入れてできあがり。

裏布は何もしなくても作れますが、裏布に同じサイズの円を書き、3箇所印を入れて、表布の印と合わせてまち針を打つと、全体のバランスが整います。

生地節約

手芸店で生地を買う場合、横幅が90~140cmで、長さは測り売りになります。長さは20~30cmを買えばちょうどいいサイズになりますが、横幅が余ります。「ハグレ」や「ガーゼマスクセット」を買って、ちょうど良いサイズ(25cm四方くらい)が購入できます。

1枚切った後に、布が10cm以上余ったら、2枚を縫い合わせることで1枚分を作ることができます。※全体に縫い代1cm分がとれるように気をつけてください。



中表で重ねて縫います。布端は2枚同時にかがり縫いかブランケットステッチ。

レースをつける場合は中表の間に、はさみます。

ちあばい♪は、アメリカのKnitted Knockers(<http://www.knittedknockers.org/>)で紹介されている編み方を翻訳し、日本式にまとめています。布バージョンは、ちあばい♪を作り方を元に作っています。